

18 友ちゃ街道(ともちゃかいどう)



森下団地の北側から西へ、本田中通りまでの道をいう。昭和33年、土地改良が始まった時、この近くに住んでいた友ちゃという人が、仕事の合間によく人を笑わせていた。このころからだれいともなくこの名で呼ぶようになった。



19 茅野いぼり(かやのいぼり)



三島町から寺脇町に流れる三島排水路のうち、県道舞坂・竜洋線から南を茅野のいぼりと呼んでいる。茅野は、この辺りの地名である。付近が天竜川の流路の一部だったころ、一面にカヤが茂っていたので、この名が名付けられたといわれている。



20 町民館通り(ちょうみんかんどおり)



福塚町町民館の西側の南北道路をいう。昭和47年、町民待望の土地改良事業と町民館建設がほぼ同時に完了した。将来ますます楽しく、潤いのある町になることを願ってこのように名付けられた。



21 村中通り(むらなかどおり)



寺脇橋から国道1号を南北に結ぶ道をいう。昔から、この道路の沿線に民家が密集していて、村で唯一の生活道路だったので、この名が付けられた。昭和14年白脇村福塚から浜松市に合併した時、この道は拡幅された。



22 学校通り(がっこうどおり)



なか道から東へ、中田島街道の白羽地下道を通して、白脇小学校へ通じる道をいう。朝夕の通勤、通学時に児童たちはこの道を歩き、自動車は県道舞坂・竜洋線を走るため、児童たちは安心して通学している。



23 白羽街道(しろわかいどう)



馬込川に架かる白羽橋を南北に通る道で、南は国道1号、北は瓜内町境までの道をいう。この街道は、中田島街道に対して、西の街道として発展してきた。白羽とは、白羽神社の祭神から名付けられたといわれている。



24 なか道(なかもみち)



町の中心を通る道であるため、このように名付けられた。この道の沿線には、白羽神社、法蔵寺、白羽町公会堂などがある。昔ながらの細い道だが、町民の生活道路として、広く町民に親しまれている。



25 大入道(おおいりみち)



白羽神社の東側の南北の道で、大入まで行く道であることから、このように名付けられた。大入とは、昔この付近で馬込川が氾行していた、大きな入江があったため、このように呼ばれたといわれている。



26 一本松通り(いっぽんまつどおり)



中田島街道と国道1号が交わる付近に、住民が一本松と呼んで親しんだ大木があった。この地点から北へ行く道をいう。昭和34年9月26日の伊勢湾台風でこの松は倒れてしまったが、いつまでも残しておきたい名称である。



27 本田中通り(ほんでんかんどおり)



中田島町は昔から本田、新田、新崎の三つの集落からなっている。今もこの字名は使われている。このため、それぞれの字の名称をとって、集落の中心を通っている道路にこれらの名が付けられた。この辺りに人が住みついたのは、はっきりしないが室町のころ、大石六兵衛によって開拓されてからと伝えられている。そして、この町にある海竜禅寺は、慶長年間(1596～1615年)大和国(奈良県)から移ってきた梅院慶和和尚が、大石六兵衛の帰依を得て、海竜庵という草庵を建立したのが始まりといわれている。海竜禅寺のあるところが本田で、本田の開拓から中田島の村づくりが始まった。今は、中田島街道の東側の集落をいう。



28 新田中通り(しんでんかんどおり)



この通りは、小学校の通学路で朝夕、児童の元気なあいさつが飛び交うようお願いを込めて名付けられた。砂丘小学校は、昭和47年に創立された。



29 新崎中通り(しんざきかんどおり)



中田島街道の終点から西へ、中田島団地の南側の道をいう。遠州灘に連なる中田島海岸は、雄大な砂丘で知られ、海風によって様々なに変化する砂模様は陰影に富み、映画や写真撮影の好適地として知られている。



30 藺草通り(いぐさどおり)



市営中田島団地中ほどの南北の道で、昔この辺りで藺草を干したため、このように名付けられた。この地方では、明治の末から昭和の初めにかけて、藺草(草製の材料)の栽培が盛んだった。海岸の砂丘が藺草の乾燥に最適といわれている。



31 郵便局通り(ゆうびんきょくどおり)



浜松まつり会館の南側の交差点を西へ、中田島団地に通じる道をいう。この道沿いに、中田島郵便局があるため、このように名付けられた。この通りの中央帯は、防風林として松が植えられている。この辺りが海に近いことをうかがわせる。



32 あいさつ通り(あいさつどおり)



市営中田島団地の北側を、藺草通りから砂丘小学校へ通じる道をいう。この通りは、小学校の通学路で朝夕、児童の元気なあいさつが飛び交うようお願いを込めて名付けられた。砂丘小学校は、昭和47年に創立された。



33 砂丘通り(さきゅうどおり)



中田島街道の終点から西へ、中田島団地の南側の道をいう。遠州灘に連なる中田島海岸は、雄大な砂丘で知られ、海風によって様々なに変化する砂模様は陰影に富み、映画や写真撮影の好適地として知られている。

